

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月19日

事業所名 帯広市幼児ことばの教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導室が3部屋あり、広さ的にも十分で十分なスペースがあります。</li> <li>・同じ時間に通所して来る子どもで、使いたい部屋を決めます。話し合いやジャンケン等指導員が加わりながら部屋決めを行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も左記を継続します。</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切である	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業から戻った職員と新規に入職した職員が加わり、4名で指導に当たっております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ようやく4名の指導体制が整い、指導に専念できる体制が整いました。</li> </ul>
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所が入居している建物が、保健福祉センター内なので、バリアフリーにもなっており、指導室も3部屋に分かれており、施設設備としても恵まれています。</li> <li>・指導環境としては、お子さん対指導員のマンツーマンで指導を行うため、集中しやすい環境です。</li> <li>・お子さんには、お勉強するときと、楽しく遊ぶときを指導員が上手に促しながら、お勉強の時は、床に上ではなく机に向かう習慣を付け、遊ぶときは思い切って体を動かしたり、好きな遊具を使って遊べるよう、メリハリをつけてかわれるように配慮しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も左記を継続します。</li> </ul>
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導が終わった後は、次の指導を受けに来るお子さんが、気持ちよく使用できるよう片付けることに心掛けています。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が5類相当に引き下げられましたが、インフルエンザ、ノロウイルス他、様々な感染症が流行しますので、引き続き清潔さを保つことに心掛けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔を保てるよう、今後も左記を継続いたします。</li> </ul>

業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規契約のお子さんには、今後の指導・支援に当たって必要なことばの検査を行って、個別支援計画書を作成します。</li> <li>・その後、半年後をめぐり中間評価を行い、目標の達成状況や、指導支援が適切であったかを会議の中で話し合い、次の個別支援計画書を作成してまいります。</li> <li>・以前から通所しているお子さんについても、上記同様、半年毎に個別支援計画書見直す中間評価を新規の個別支援計画書を作成して行くというサイクルで、職員全員で会議を持ち進めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も職員全員が共通認識を持ち、左記の通り継続します。</li> </ul>
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の事業所に対する評価は、良い評価が多く、これからもそう評価していただけるように、誠実な対応に心掛けていきたい。</li> <li>・悪い評価には、もきちと耳を傾け、必要な手当てをすぐに取りが必要だと思っています。また特に何も書かれなかったから大丈夫ではなく、その保護者がきちと表出できるように、どなたに対しても、誠実にかかわっていくことが大切と思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い評価に対しては、率直にうれしく思い、今後の指導・支援の糧にしていきたいと思います。</li> <li>・今回の指摘事項については、真摯に受け止め、改善できることに関してはすぐに対応させていただきました。また備品で高額なものの故障により、ご不便をお掛けしておりますが、もう少しお待ちください。</li> </ul>
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室だよりも、集計した自己評価結果を保護者用と事業者用の両方を添付し、保護者に配付します。また当法人のホームページにも3年度分の評価を掲載していますので、今年度分の自己評価も掲載し、関係機関にも閲覧できるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も左記を継続します。</li> </ul>
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人の監査・理事会・評議委員会の中で「事業報告」を行い、指摘内容についてはすぐに対応するようにしています。また「地域福祉実践計画評価委員会」の中で出された意見についても、次年度の実践計画に反映させて実行しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も左記を継続します。</li> </ul>
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間研修計画を作成し、職員全員に研修の機会が当たるようにしています。</li> <li>・また月に2回～3回行われる、事業所内の個別支援会議（判断会議、中間評価会議、計画書会議、終了会議）などが、事例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどがオンライン研修でしたが、できる限り参加しました。</li> <li>・また事業所内で行っている個別支援会議自体が、事例研修になっており、子どもの見方や判断</li> </ul>

				例研修の役割を果たしています。	の仕方、指導計画の立案の参考になっています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5人	0人	・指導を開始するにあたり、家族歴、生育歴や養育歴など詳細をお聞きします。 またお子さんの通っている認定こども園・幼稚園・保育所などから集団生活での情報も頂き、お子さんの様子と合わせて必要な指導・支援を考え個別支援計画書を作成しています。	・今後も左記を継続します。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5人	0人	・通所してきているお子さんに対応した(ことばに特化した内容)独自のアセスメントツールを使用しています。	・45年の歴史の中で独自に使用されてきているアセスメントツールを、その時代に合わせて修正・変更しながら使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5人	0人	・児童発達支援ガイドラインを参考に、当事業所を利用しているお子さんに必要な項目を選択し、なるべく具体的に分かりやすく、個別支援計画書を作成しています。	・お子さんの成長に合わせながら、計画書の見直しを行い、その都度お子さんに必要な支援ができるように、個別支援計画書を作成していきます。 ・今後も左記を継続します。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5人	0人	・個別支援計画書に添いながら、指導・支援を行っています。半年ごとに、中間評価会議で、目標、指導・支援について、職員全員で話し合い、必要な修正を行っています。	・個別指導のためお子さんと指導員との関係性で指導・支援が勧められますが、お子さんの状況や指導・支援の状況については、職員全員の共通理解の基で勧めていきます。 ・今後も左記を継続します。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	—	—	・個別指導のため、当日の活動プログラムをチームで立案することはありませんが、指導員同士で話をしながら、自分の指導・支援に生かしています。	・今後も左記を継続します。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5人	0人	・お子さんの特長を掴みながら、好みの遊びや興味のあるものを取り入れ、指導や遊びに反映させ、飽きないような工夫を行っています。	・今後も、先を継続します。

適切な支援の提供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5人	0人	・当事業所は、個別指導のみのため、お子さんが所属している認定こども園・幼稚園・保育所と連絡を取らせていただきながら、個別支援計画を立てています。	・今後も左記を継続します。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	—	—	・個別指導のため、指導に関しての細かな打ち合わせは行っていない。 ・支援が始まる前には、前回の記録を見返し、今日行う指導・支援内容を確認してから開始しています。	・今後も左記を継続します。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	—	—	・個別指導のため、職員間での指導の振り返りはしませんが、一人の指導員の話提供に対し、みんなが意見を出し合うような場面はよくあります。	・今後も左記を継続します。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5人	0人	・指導終了後に、記録を書く時間が確保されているため、毎回記録を書いていますので、支援の検証や改善につなげています。	・記録を見返すことで、今日のすべき指導が分かるようになっており、記録は欠かせないものになっています。 ・今後も左記を継続します。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5人	0人	・半年に1回の割合で、子どもの現状を正しく評価し、指導・支援が有効であったのかを確認していくために、中間評価会議を行い、個別支援計画書の見直しを掛けています。	・お子さんが新規契約で毎月入ってくるので、ほぼ毎月中間評価会議と個別支援計画書の会議が行われています。 ・今後も左記を継続します。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	—	—	・セルフプランのため、相談支援事業所とのかわりはありません。	・当事業所を利用しているお子さんと、相談支援事業所を利用している方はいませんが、必要がある場合は適切な者を参画させます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5人	0人	・当事業所は保健福祉センター内にあるため、子育て支援課や健康推進課とは、必要な連絡は常に取ることができます。	・今後も左記を継続します。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)	—	—		

関係機関や保護者との連携	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	②④ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		
	②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	—	—		
	②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5人	0人	・4月から新1年生になるお子さんで、言語通級指導教室や特別支援学級へ通級や通学となったお子さんについては、市教育委員会の依頼により、3月末に引き継ぎを行っています。	・保護者の同意を得た上で、今までの指導・支援の経過やお子さんの特徴などの情報提供をするとともに、必要な配慮についてお願いをしています。 ・今後も左記を継続します。
	②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0人	5人	・児童発達支援センターや他の児童発達支援事業所との関係性は特に持ってはいません。	・連携や研修は必要だと思っていますので、何らかの形でかわりが持てたら良いと思っています。
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	—	—	・当事業所を利用しているお子さん全員が、認定こども園、幼稚園、保育所を活用しており、そこで障害の有る子無い子にかかわらず、普通に活動を行っています。従って事業所として意図的にそういった活動を設ける必要はないと考えます。	・今後も左記を継続します。
	②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5人	0人	・平日の午前中や午後の開催のため、参加はできません。ただし、土日開催の研修会には参加しています。	・今後も左記を継続します。
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5人	0人	・毎回の指導・支援後に保護者の方と話をする時間を設けてあるので、その日の指導・支援の状況や家庭での様子などをお聞きし、話し合いながら、共通認識を持つようになっています。	・今後も左記を継続します。

	①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレント・トレーニングと称して、支援を行なってはいせん。</li> <li>・ただの毎行われる指導については、保護者は観察室からその様子を見ているので、客観的に、指導員のかかわり方を見ながら、保護者自身のかかわりを重ね合わせ、振り返っている様子は、保護者のお話から聞くことができます。また保護者に同室してもらい、お子さんの成長に合わせながら、かかわり方を実践してもらったり、保護者と家庭でのかかわりについて話し合うこともしています。</li> </ul>	・今後も左記を継続します。
保護者への説明	②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用契約を結ぶときに、重要事項説明書の説明を行い、保護者からの質問には丁寧に答えています。</li> </ul>	・今後も左記を継続します。
	③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に1回の割合で、個別支援計画書を作成し、保護者に説明の上、同意を得ています。</li> </ul>	・今後も左記を継続します。
	④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の指導後に、保護者と話す時間を設けており、そこで相談に応じています。また別途時間を設けての相談にも応じています。</li> </ul>	・今後も左記を継続します。
	⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0人	5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所独自の父母会はないことから、父母会の入会を申し出られた場合は、「帯広地区こたばを育てる親の会」の入会について案内を行っています。</li> </ul>	・保護者から当事業所独自の父母の会の要望があった場合は、検討させていただきます。
	⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・④にも書いた通り実施しています。指導員の対応では難しい内容の場合は、児童発達管理責任者や管理者等が対応できるようになっています。</li> </ul>	・今後の左記を継続いたします。
	⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隔月で教室だよりを発行し、行事予定や学習資料、指導のひとこまなどを掲載し、保護者や認定こども園・幼稚園・保育所など関係機関に配付しています。</li> </ul>	・今後の左記を継続いたします。

③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5 人	0 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報については、紙面で得られたものでも、電子データの情報でも、適切に管理しています。終了していく際には、保護者にお渡しできる物はお渡しし、処分についてはお任せする物もあります。また規定により5年間保存しなければならないものは、期間終了に合わせ、焼却処分します。</li> <li>・また所属訪問や書類提出、引継ぎに関しても「個人情報同意書」をいただいております、その範囲以内で行っています。またその際、再度口頭での同意も受けて行っています。</li> </ul>	・今後も左記を継続します。
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5 人	0 人	・お子さんや保護者の方に伝わりやすいように、丁寧に伝えるように心掛けています。	・今後も左記を継続します。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0 人	5 人	・地域住民に、事業所を知ってもらうための行事を企画をすれば、できるかもしれませんが、子どもの指導・支援を無くて行事を開催することは難しく、従って、地域住民に対して、開かれた事業運営を図ることはできていないと思います。	・児童発達支援事業所は、運営上、サービス提供日に行事を開催することは難しい仕組みになっており、特に個別指導を行っている事業所としては、行事自体を企画することは、なかなかできないと思います。
④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5 人	0 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待合室に「緊急時対応マニュアル」を綴ったファイルを置いて、閲覧できるようにしてあります。</li> <li>・契約時に、重要事項説明書の説明の中で、非常災害に関わる避難について大枠の説明は行っており、感染症に関しても、予防や感染した場合の対応などについては、教室だより掲載して周知しています。</li> </ul>	・防犯や感染に関する訓練は、職員研修の中で、いざという時のシミュレーションを行い、行動の確認をしています。
④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5 人	0 人	・当事業所が入居している保健福祉センターで行われる年2回の避難訓練には、職員が参加し、非常口、非常ベル、防火戸、避難経路、消火器等の状況を把握し、避難・誘導などについての訓練を受けています。また、事業所独自で避難経路図を作成し、目で見て確認がし易いようにしてあります。	・当事業所は個別指導であり、決められた時間に通所し、終了すると帰宅し、次の子どもが通所して来るような形態のため、保健福祉センターで行われる避難訓練には、保護者や子どもの参加は難しいため、契約時に、保護者とお子さんを連れて、避難経路に沿い非常口まで誘導し、避難口の確認をしてもらうようにしています。

非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所相談、事前アンケート、ことばの検査の面接などの中で、お子さんの状況について確認をさせていただいています。</li> <li>・指導後の保護者との話し合いの時に、詳細はお聞きしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所には、保護者同伴で指導終了まで観察室でお子さんの児童の様子を見ているので、発作などに関しては、保護者の方が発見することもあります。</li> <li>・服薬は、保護者が持参しているのでその手当は保護者をお願いします。</li> </ul>
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当教室では、食事の提供を行っていません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーの情報については、食物の提供の有無かかわらず確認はとっておきます。</li> </ul>
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0人	5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットに関する事案はありませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も注意を怠ることなく指導・支援に当たらなければならないと思っております。</li> <li>・事案があった場合は、事例集に乗せ、職員全員で共有し、自分たちの行動を振り正すようにしていかなければならないと思っています。</li> </ul>
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待に関する事案はありませんでした。</li> <li>・虐待防止に関しての研修については、年1回から2回の研修を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事案が発生した場合、当法人の虐待防止委員会にかけ適切な対応を行っていききたいと思います。</li> </ul>
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5人	0人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束を行う事案はありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事案が発生した場合、身体拘束適正化検討委員会において、必要な対応を取っていききたいと思います。</li> </ul>

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。